

OUTLOOK: [REDACTED]

Assessment: [REDACTED]

バグダッド 日誌 (3月2日)

○メリッサ少将の3度目の正直

昨日、MNC-1 副司令官(行政担当) [REDACTED] (伊)のサマーワ宿営地・キャンプ・スミッティの視察に同行した。[REDACTED]は、過去に2回サマーワ宿営地訪問を試みたが1回目は天候不良でヘリがキャンセルとなり、2回目は途中で

で行ったもののサマーワ周辺が砂嵐のため引き返し視察ができなかった。
日本隊のサマーワ宿営地の評判は、ここキャンプ・ヴィクトリー内では有名であり、沢山の将官が希望している。前回コアリション・オペレーション部長ティケッティ准将(伊)が日本隊を訪ね、その際の日本隊視察の話メリッサ少将は直接聞いており、ずっと楽しみにしていた。

昨日は天候に恵まれ素晴らしい視察ができた。移動は米軍ヘリで実施したがオペレーション重視のため、しばしば時間が増える。昨日も30分程度早くバグダッド出発となり、20分程度早くサマーワに到着した。少将は「少し早く着きすぎたのでは?」と心配しておられたが、日本隊の準備は万全でまさに「立て板に水が流れる」如く視察が実施された。到着直後の歓迎礼ではイタリア国歌、日本国歌が演奏されたことに感動された[REDACTED]は、その後も感動の連続であった。洗練された小瀬隊長によるブリーフィング、衛生隊長による医療施設説明、群2科長による[REDACTED]説明・展示等すっかり満足されていた。仕上げは着物の女性自衛官による「茶道」が実施され「日本文化」「もてなしの心」「きめの細やかさ」を十分に堪能していた。日頃は無口な[REDACTED]は、よほど日本隊の視察に感動したのか珍しく多弁で、ご機嫌で我々日本LOIに話しかけてくれた。帰路の際に「日本隊は、素晴らしい。特に敬礼が素晴らしい。宿営地の視察の移動間すべての隊員が美しい敬礼をしていた。日本隊の強さがよく分かった。」と大変なお褒めの言葉を頂いた。

サマーワの皆様の素晴らしい受け入れにより、日本隊の良き理解者がまたひとり増えました。また我々連絡官はキャンプ・ヴィクトリーで胸を張って勤務できます。本当に有り難うございました。

○サマーワ視察雑感

サマーワの施設は、2年前に第1次群の警備幹部として勤務した当時とは比べものにならないほど充実し、展開当時に缶詰の空き缶をお玉にしてみそ汁を配膳していた時とは隔世の感があった。しかながら変わらない日本精神が嬉しかった。「車両は水平・直角・一直線を3cm以内の誤差で整頓」されており、無言の内に日本隊の精進さを誇示していた。また今回の視察にあわせて、我々バグダッド連絡班がなかなかサマーワに行く機会がないため、日本食、薬、電話・FAXの予備等をもって帰れるようにしてもらい、[REDACTED]の受け入れだけでも大変な中、我々にまで気を遣って頂き本当に感謝しております。

バグダッド連絡班一同、サマーワのために頑張ろうと新たな活力がわいております。